

なぜ今?

横須賀石炭火力発電所は、稼働すると年間 726 万トン CO2 を排出。
横須賀市の CO2 排出量 188 万トン (2017 年) の約 3.8 倍に相当し、
神奈川県 の CO2 排出量 7721 万トン (2015 年) の約 10% に相当します。

横須賀で石炭火力発電所の建設が進む



今、横須賀市久里浜で(株) JERA*による大規模な石炭火力発電所の建設が進み、2023年から稼働予定としています。JERAはテレビコマーシャルなどを通じて、2050年のゼロエミッションに向けて挑戦することを宣伝し、環境対策に前向きな企業であることをアピールしていますが、このように横須賀では石炭火力の建設を着々と進めているのです。

東京湾岸では2012年以降に4カ所で石炭火力発電所の建設計画が浮上しましたが、横須賀以外の3カ所(市原、千葉、袖ヶ浦)では計画中止となりました。JERAも横須賀の石炭火力発電所建設を中止するべきです。

(東京湾石炭マップ)

* (株) JERA (ジェラ)

東京電力と中部電力が出資する日本最大の発電事業者。

石炭火力の建設を止めるために、まだできることがあります!

2021年10月までの工事進捗率は42.2%です。(「JERA横須賀ジャーナル」より)。中止の決断は今からでも遅くありません。

- 署名やアンケートに

<https://nocoal-tokyobay.net/>
- 身近な人に計画について話そう

- 裁判の傍聴に行こう

- 東京電力からエネルギーシフトをしよう

- 再生可能エネルギーを進める政党に投票しよう
